

---

エコアクション21

# 2023 環境経営レポート

(2023年1月~2023年12月)



2024年3月23日

広島緑地建設株式会社



®環境省

エコアクション21  
認証番号 0010099



# 1. 組織の概要

(1) 会社名 広島緑地建設株式会社

代表者名 大野 穂

(2) 所在地 本社：広島県広島市安佐南区伴南5丁目5-15

庄原営業所：広島県庄原市板橋561-1

(3) 設立年月日 1948年2月3日

(4) 事業内容

(造園工事の設計・施工) 造園工事、土木工事、建築工事、ゴルフ場造成・修景工事、特殊緑化  
設計・立案、環境調査、樹木診断・治療、土壌基盤診断

(施設運営管理) 公共施設の運営管理、各施設の植栽委託管理、里山・山林整備

(5) 事業の規模

【資本金】 4,300万円

【売上高】 774百万円（2023年度）

【従業員】 本社 14名、庄原営業所 26名、  
指定管理施設（縮景園）24名（累計 64名）

(7) 環境管理責任者 大旗 真孝 工務部課長

連絡先 TEL 082-554-1665

FAX 082-554-1666

E-mail ohhata@ryokuchi.com

## 2. 対象範囲（認証・登録範囲）

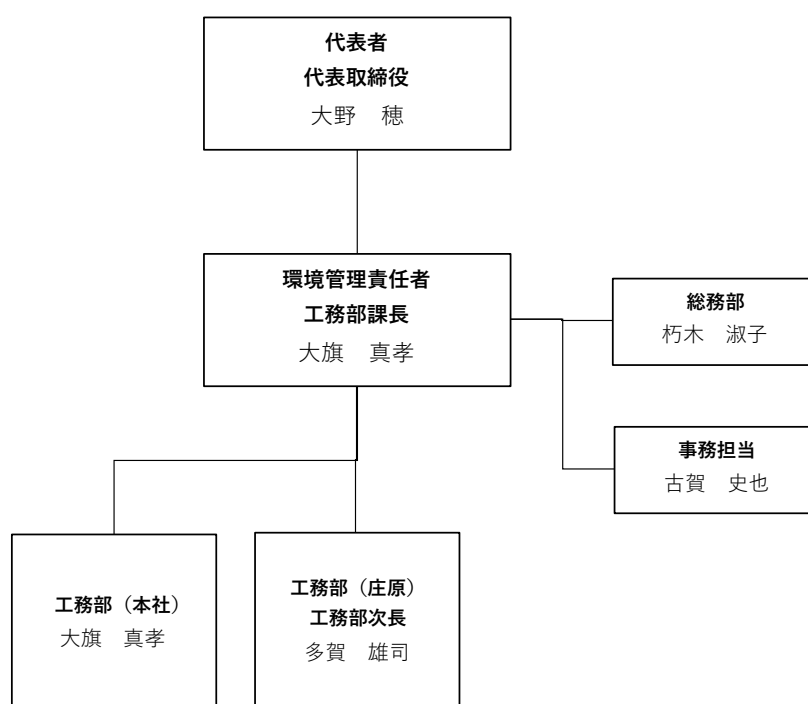
(1) 組織名 広島緑地建設株式会社

(2) 事業所 本社、庄原営業所

(3) 事業活動

造園工事・土木工事の設計・施工、施設運営管理

事業所 本社・庄原営業所



役割・責任・権限
○代表者 <ul style="list-style-type: none"><li>・ EA21システムの統括</li><li>・ 環境経営方針の策定</li><li>・ 実施体制の構築</li><li>・ 全体の評価と見直し</li></ul>
○環境管理責任者 <ul style="list-style-type: none"><li>・ EA21システムの構築・運用</li><li>・ 上記状況の代表者への報告</li></ul>
○事務局 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 環境管理責任者の補佐</li></ul>
○各部門長 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各部門に関連する活動計画の実行等EA21システムの統括</li></ul>
○従業員 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 環境経営方針や各自の役割を理解し、環境活動に取り組む</li></ul>

## 3. 環境経営方針

### （環境理念）

廣島緑地建設株式会社は、造園工事業、公共施設運営管理の事業活動を通じて、社員全員で環境問題について学習し常に環境に配慮するとともに、継続的に社会に貢献していく事を理念とする。

### （行動指針）

当社の環境理念に基づき深刻化する環境問題への対応を最重要課題とし、この事業活動に於いて環境への影響を抑制し、環境負荷の削減等を推進するために以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
  - ☆ 環境に配慮した造園工事の設計施工、公園施設の運営管理を推進します。
  - ☆ 使用エネルギー（電気、化石燃料）の節減に努めます。
  - ☆ 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
  - ☆ 事業所での節水に努めます。
  - ☆ 化学物質使用量の削減に努めます。
  - ☆ 環境にやさしいグリーン購入に努めます。
  - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
  - ☆ 5S活動の実施を徹底し、効率化・安全性の向上に努めます。
  - ☆ 社内勉強会などの開催により従業員意識の向上を図ります。
3. 環境経営レポートを作成し、環境への取組み状況を全社員に周知させ一般にも公表します。

制定日：2013年4月 1日

改定日：2023年3月23日

代表取締役 大野 穂

## 4. SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組み。

広島緑地建設株式会社は持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、下記の目標達成に向けた活動を行ってまいります。



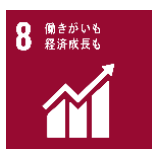
6 安全な水とトイレを世界中に

- 定期的な漏水点検、節水ラベルの表示により、事業所利用水の節水に努めます。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 低燃費車の優先使用、アイドリングストップの実施、空調機器の適正管理による使用エネルギーの削減に努めます。



8 働きがいも経済成長も

- 自然観察会等、地域と密着したイベントを随時開催することにより、働き甲斐のある職場、地元との経済成長を目指します。



11 住み続けられるまちづくりを

- ボランティア活動による清掃活動の実施により環境活動の社会貢献を推進します。



12 つくる責任つかう責任

- 事業活動に伴う廃棄物に関して、分別を実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
- エコマーク商品の調査、優先購入により環境にやさしい商品利用に努めます。



13 気候変動に具体的な対策を

- 低燃費車の優先使用、アイドリングストップの実施、空調機器の適正管理による使用エネルギーの削減に努めます。
- 工具の電動化を推進し、CO2排出の削減に努めます。



15 陸の豊かさを守ろう

- 環境に配慮した造園工事の設計施工、公園施設の運営管理を推進します。



## 5. 環境経営目標

2022年～2025年環境目標

環境方針	目標項目	2021年 実績	2022年 目標	2023年 目標	2024年 目標	2025年 目標
環境に配慮した造園工事の設計施工、公園施設の運営管理を推進。	外来種除去	4回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	希少植物保護	5回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	自然観察等の講習会	4回/年	5回/年	5回/年	5回/年	5回/年
使用エネルギー(電気、化石燃料、水等)の削減に努めます。	電力消費量の削減(kWh)	基準値 24,978	1%節減 24,728	2%節減 24,478	3%節減 24,229	4%節減 23,979
	ガソリン+軽油の削減(ℓ)	基準値 49,291	1%節減 48,798	2%節減 48,305	3%節減 47,812	4%節減 47,319
	水道水の削減(t)	基準値 219	1%節減 217	2%節減 215	3%節減 212	4%節減 210
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	せん定枝リサイクル推進	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
化学物質使用量削減に努めます。	農薬の適正管理					
環境にやさしいグリーン購入に努めます。	エコマーク商品の購入					
環境活動の社会貢献を推進します。	清掃活動の実施(庄原営業所)	1回 /月	1回 /月	1回 /月	1回 /月	1回 /月

1.2022年～2025年の電気、ガソリン軽油、水道使用量の目標値は2021年の実績を基準に設定。

2.一般廃棄物は業務受注内容によって差違が生じることから目標設定しないが、分別を徹底することとしています。

## 6. 環境目標の実績（2023年1月1日～2023年12月31日）

	目標項目	基準値	2023年度	2023年度	評価
			目標値	実績値	
環境に配慮した造園工事の設計施工、公園施設の運営管理を推進。	外来種除去		2回/年	4回/年	○
	希少植物保護		2回/年	5回/年	○
	自然観察等の講習会		5回/年	4回/年	△
使用エネルギー (電気、化石燃料、水等) の節減に努めます。	電力消費量の削減(kWh)	基準値 24,978	2%節減 24,478	81% 19,932	○
	ガソリン+軽油の削減(L)	基準値 49,291	2%節減 48,305	68% 33,034	○
	水道水の削減(m <sup>3</sup> )	基準値 219	2%節減 215	53% 113	○
事業活動に伴う廃棄に関して、分別を実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	せん定枝リサイクル推進	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	○
	一般廃棄物削減	分別の徹底			○
化学物質使用量削減に努めます。	農薬の適正管理				○
環境にやさしいグリーン購入に努めます。	エコマーク商品の購入				○
環境活動の社会貢献を推進します。	清掃活動の実施 (庄原営業所)	1回 /月	1回 /月	1回 /月	○

※電力、ガソリン&軽油の目標値は2021年の値を元に設定。

1.使用エネルギーによる二酸化炭素排出量（灯油含む）は、

2022年度は113,893k g-CO<sub>2</sub>。

（大和ハウスの令和3年度二酸化炭素調整後排出係数0.417kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用）。

2023年度は92,605k g-CO<sub>2</sub>。

（中国電力の令和4年度二酸化炭素調整後排出係数0.545kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用）。

2.警備事業の撤退により、全体的なエネルギー使用量が減少している。

2023年は本社の車両走行距離を計測し、燃費を算出した結果、ガソリン消費量2,882ℓに対し、車両走行距離は20,096kmであり、燃費は8.11km/Lになり、異常値は見受けられなかった。

## 7. 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

### 自然観察会の実施



管理運営施設では、地元の小学生と共に、1年間を通し、公園内の生き物を観察して「なぜ？どうして？」という科学する心を育む総合学習を実施し、「見る」⇔「考える」⇔「説明する」ことが出来る人を育てています。


SDGs に注視し、持続可能な地球のあり方を考え、自然体で考える人を育てています。



環境方針	項目	取組み結果	評価
造園工事の設計施工	外来種除去	委託管理作業時に外来を除去	○
		(次年度の取組み) 取組を継続して実施する。	
	希少植物保護	ローピングによる保全活動の実施	○
		(次年度の取組み) 取組を継続して実施する。	
	自然観察会の実施	地元小学生を招いて、 自然観察等の体験プログラムを実施	○
		(次年度の取組み) 取組を継続して実施する。	



環境方針	項目	取り組み結果	評価
使用エネルギー (電気、化石燃料等) 削減に努めます。	電力消費量の削減	O.A機器スイッチオフ→毎日実施 不要時の消灯→毎日実施 エアコンの温度管理 冷房28℃ 暖房20℃→遵守  エアコンのフィルター清掃→6月・11月に実施 照明器具の定期清掃→12月に実施 (次年度の取り組み) 今年度の取り組みを継続しつつ、改善の余地があるなら随時更新していく	○
	ガソリン+軽油 消費量の削減	タイヤの空気圧の確認→日常点検の実施 不要時のアイドリングストップの実施 →遵守 燃費車等の優先使用→プリウスの使用 (次年度の取り組み) 社員全員が意識し取り組む	○
事業活動に伴う 廃棄に関して、 分別を積極的に 実施することにより リサイクルを推進し、 廃棄物を削減 します。	せん定枝 リサイクル推進	せん定枝等リサイクル施設への搬出 →幹・葉・枝・草屑等の分別を徹底	
	一般廃棄物削減	コピー用紙の裏紙利用→継続して実施 両面印刷の推進→遵守 廃棄物の分別の徹底 →分別ごみ箱の設置、リサイクル用紙入れの設置 両面コピーや裏紙の使用 機密文書のシュレッダーによる処理 →情報漏洩の防止 	○
		(次年度の取り組み) 上記取り組みの継続、改善	

環境方針	項目	取り組み結果	評価
節水に努めます	事業所利用水の節水	水道管の漏水点検を実施 凍結時の元栓の閉鎖 節水ラベルの貼り付け 	○
		(次年度の取り組み) 節水に努める。	
化学物質使用量の削減に努めます。	農薬の適正管理	適正発注・使用により在庫を残さない →遵守	○
		芝生に繁茂するクローバーや雑草に対し、重曹を使用する工法、抑草効果を与える。 過剰な薬剤の散布を控える取組として高木の害虫駆除に樹幹注入式の殺虫剤を使用。	
(次年度の取り組み) 今年度の取り組みを継続的に行う。			
環境にやさしいグリーン購入に努めます。	グリーン購入の推進	エコマーク商品の調査実施 エコマーク商品の調査実施商品の優先購入 →バーク堆肥の使用、事務用品	○
		(次年度の取り組み) 調査結果を踏まえて、優先購入に努める。	
環境活動の社会貢献を推進します。	環境活動の実施 (5回/年)	1.ボランティア活動による道路清掃の実施 →庄原営業所前の県道にて実施	○
		(次年度の取り組み) 状況により中止も視野に適切な方法で実施を目指す	

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認、

### および評価の結果並びに違反、訴訟の有無

#### (1) 遵守状況

適用される主な環境関連法規と、その遵守状況は次のとおりです。

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物処理業者との契約締結	遵守
	マニフェスト管理	
建設リサイクル法	分別解体計画書の届け出と再資源化	該当工事なし
騒音・振動規制法	該当する工事の届け出、規制値の遵守	該当工事なし
オフロード法	排出ガス抑制のための措置	遵守
	使用の制限（基準適合車の使用）	
農薬取締法	表示事項の遵守	遵守
フロン排出抑制法	3か月に一回簡易点検・記録の保存	遵守

#### 2) 訴訟等の有無

- ・環境関連法規等の遵守状況の確認の結果、違反はありませんでした。
- ・過去3年間においても、関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情、訴訟等はありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

項目	変更の必要性評価	備考
方針の変更	要 ・ (否)	
環境目標の変更	要 ・ (否)	
環境活動計画の変更	要 ・ (否)	2021年の実績値を基に対比し、より環境に配慮したエコ活動の推進と継続を行います。環境に配慮した造園工事の設計施工、公園施設の運営管理を推進します。
環境経営システムの変更	要 ・ (否)	
代表者のコメント	<p>過年度収集した基礎データを活用し、目標項目の状況を把握し、適時の改善取組みにより電力消費量、化石燃料、利用水等の抑制に努めてまいりました。今後も事業の拡大や受注業務の諸条件による人員の増加や車両・機械の増設等による電力消費量、化石燃料の増加が懸念されます。化石燃料を使用する機械の電動化を促進し、さらなる電気消費、化石燃料消費など環境負荷削減に努めるとともに中期的な計画においては創意工夫を実施します。また、社内会議を通じて取り組み状況の情報を共有し、提案・改善を行ってまいります。</p>	